

新潟大学 人を対象とする研究等倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	新潟県内における骨折リエゾンサービスの活動状況把握調査
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	
【対象】 2022年4月から2025年3月における新潟県内の施設を受診した60歳以上の大腿骨近位部骨折患者 【研究期間】 新潟大学医学部倫理審査委員会承認後から2026年3月31日まで 【過去の研究課題名】 なし	
③概要	
2022年4月より大腿骨近位部骨折に対する管理に対して、『二次性骨折管理加算』および『緊急整復固定・緊急挿入加算』が取れるようになり、各施設で骨折リエゾンチームの構築や加算獲得のためのシステム作りがなされ始めています。我々がこれらのシステムがより普及するために、新潟県内におけるこれらのシステムがどの程度普及しており、また、どのような問題点があるのかを調査し、改善のための策を講じる必要があると考えました。本研究の目的は新潟県内におけるこれらのシステムがどの程度普及し、また、どのような問題点があるのかを調査することです。	
④申請番号	2023-0135
⑤研究の目的・意義	2022年4月より大腿骨近位部骨折に対する管理に対して、『二次性骨折管理加算』および『緊急整復固定・緊急挿入加算』が取れるようになり、各施設で骨折リエゾンチームの構築や加算獲得のためのシステム作りがなされ始めています。本研究の目的は、新潟県内におけるこれらのシステムがどの程度普及しており、また、どのような問題点があるのかを調査することです。
⑥研究期間	新潟大学倫理審査委員会承認後から2026年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその方法を含む。）	介入を伴わない、アンケート結果を用いた後方視的研究であり、新たに生じる不利益、危険性はないと考えられます。使用するデータは個人が特定されないように匿名化を行い、研究に使用します。研究の成果は、学会や専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人が特定できるような情報が公表されることはありません。
⑧利用または提供する情報の項目	新潟県内で整形外科を標榜している施設（2020年に新潟県大腿骨近位部骨折調査に参加した80施設）
⑨利用の範囲	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学講座および整形外科

⑩試料・情報の管理について 責任を有する者	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学 講座 今井 教雄
⑪お問い合わせ先	新潟大学大学院医歯学総合研究科 健康寿命延伸・運動器疾患医学 講座 今井 教雄 025-227-2272 imainorio2001@med.niigata-u.ac.jp